

平成29年度 学校経営方針

Ⅰ はじめに

学校のミッションは、生徒が自分らしく生きるための資質や能力を引き出し、最大限に伸ばすことである。「高校のない離島の唯一の中学校・極少人数・小中の隣接・島独自の教育資源」という本校の特性を踏まえ、学習指導要領の理念である「生きる力を育む」教育活動の一層の充実を図る。そのために「アクティブラーニング」の手法を活用した「主体的・対話的で深い学び」で、基礎的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等を伸ばし、「豊かな心と健やかな体の育成」の取組をさらに充実・深化・発展させ、日々の教育活動の中で継続的に取組の実践と検証をしていく。

また、来年度の「施設分離型小中一貫校：式根島学園(仮称)」開設に向け、式根島小学校との連携をより強化した具体的な取組を策定する。小中9年間の学びで、「確かな学力・豊かな心・健やかな心身」をバランスよく身に付けるために、各教科・領域のカリキュラムを見直し、兼務発令による連携授業の継続、協力・合同授業と児童・生徒交流活動等の実施と拡大などの連携内容を充実させる。新島村連携型一貫教育のもと、モヤイの心をもって郷土を愛し誇りを持ち、自己実現に向けてたくましく生きる児童・生徒の育成を図っていく。

【29年度重点取組】

- * 授業時数の確保と、指導・評価の一体化及び家庭学習の定着に向けた取組
- * 小中一貫校に向けた式根島小学校との連携推進と強化 (教科・道徳・総合・行事等)
- * 校内研修の充実 (相互参観・小学校授業参観等)
- * 全教科・領域等における「オリパラ教育」の推進及び「基礎学習の時間」の充実
- * 小中を見通したキャリア教育の推進及び 郷土理解学習の充実
- * 「個人カルテ」活用による個別支援の充実、及び保育園、小学校、高等学校との連携の強化

等々

Ⅱ 教育目標

式根島の豊かな自然と郷土の文化に愛着と誇りをもち、子供たちが、知性、感性、道徳心と体力を育み、社会の変化に主体的に対応できる力と人間性豊かに生きる力を培い、式根島の小・中学校9年間を見通した教育活動を展開していくために、次の教育目標を掲げる。

「ふるさと式根島を愛し、心身ともにたくましい児童・生徒」 (小中共通)

- ・ すすんで学び考える生徒 (知：確かな学力の向上)
- ・ 人も自分も大切にする生徒 (徳：豊かな心の醸成)
- ・ 心身ともに健康な生徒 (体：健やかな心身の育成)

Ⅲ 教育目標の具現化に向けた基本方針

1 確かな学力の向上に努める

- (1) 1時間毎の授業や各単元でのねらいを明らかにし、振り返りを重視して学習の定着を図る。(計画、補充・発展、発言・活動、評価、個別支援、家庭学習)
- (2) 授業評価や教科面談を活用して各自の学習を振り返らせ、学習意欲の向上を図るとともに、各家庭と連携して学習習慣を定着させ、確かな学力の向上に努める。
- (3) 「基礎学習の時間」を活用して思考・判断・表現力の伸長を図るとともに、個々に応じた補充学習を実施する。
- (4) 各学力状況調査・定期テスト等を参考に、各単元毎の指導計画・評価計画を検証して授業改善推進プランや個別指導計画を作成し、個に応じた指導を実践する。
- (5) 相互授業参観・校内外の研修を通して授業力を高め、アクティブラーニングの手法を活用しつつ「主体的・対話的で深い学び」を目指し、魅力ある授業づくりを目指す。

2 豊かな心と健やかな心身をはぐくむ

- (1) 人権尊重教育を推進し、人も自分も大切にすモヤイの精神と態度を育むため、全教育活動を通じて「心の教育」を推進する。
- (2) 道徳の授業時数を確保するとともに道徳教育の充実に努め、各教科・領域等様々な活動を通して生徒の道徳的実践力を高める。
- (3) 「いじめ対策委員会」や「いじめアンケート」、S・C・教員による教育相談を活用して、いじめを未然に防止し安全で安心な学校作りを推進する。
- (4) 生徒会朝礼・奉仕活動等、生徒が企画・運営する活動を支援し、生徒の有用感や達成感を達成させ、生徒一人一人が自信と誇りを持って活動する資質や態度を伸長する。
- (5) 健康指導や食育、安全指導を通して、健康・安全についての意識や態度を育てる。
- (6) 体力増進の継続的な取り組みや、学校・地域の体育的行事、運動部活動に積極的に参加し、自らの体力の向上に主体的に取り組む態度を養う。
- (7) 「オリンピック・パラリンピック教育」を通して、関連する項目について深く学ぶ。
- (8) 清掃や美化活動、校庭の整備に努め、学習環境整備の推進を図る。
- (9) 一人一人の生徒をよく見つめて生徒理解を深め、生徒との信頼関係に基づいた指導を、全職員で共通実践する。

3 将来を見つめ、たくましく生きる力を付ける

- (1) 「生き方指導」としての将来を見通した進路指導の充実を図り、自己実現に向けてたくましく生きる生徒を育成する。

- (2) キャリア教育の充実に努め、島内職場訪問・職場体験及び内地での職場体験等を中心とした様々な活動を通して、正しい職業観を身につけた生徒の育成を図る。
- (3) 「総合的な学習の時間」の充実に努め、各教科等で身に付けた学力を活用し、教科横断的な体験的学習を重視した活動で、表現力・発信力等コミュニケーション能力を高める。
- (4) 小中を通して系統性のある郷土理解学習の充実に努め、地域の学習を通して、「ふるさと式根島」に誇りを持ち、自信をもって「ふるさと式根島」を語ることでできる生徒を育成する。

4 家庭・地域社会と連携し、信頼関係を築く

- (1) 小中一貫校開設を見据え、式根島小学校との連携を推進して、準備委員会等で小中9年間の教育計画の系統性・連続性・統一性を具体的に深化・拡大させる。
- (2) 保・小・中・高との連携活動を行い、新島村一貫教育を推進する。
- (3) 学校評価を積極的に公開し、学校運営連絡協議会制度を活かし、よりよい教育活動の推進に努める。学校関係者（含保護者）による評価「良好」が、概ね8割を超えることを目指す。
- (4) 教育活動の充実に努めるため、各教科・領域等の活動において、積極的に地域の人材や施設・文化財の活用をする。
- (5) 地域住民として、新島村及び式根島内における諸活動や行事には積極的に参加・協力する。同時に教育公務員としての自覚を持ち、言動に責任を持って行動する。
- (6) 教職員一人一人が経営参画意識を高め、個々の持ち味を発揮しながら協調して、組織としての学校力と学校への信頼感を高める。